

議会だより



なかさつない



今日から仲間入り（中札内きらきら保育園入園式）

3月定例会	p 2～11
平成30年度予算審査	p 2～7
条例改正・補正予算	p 8～9
一般質問 ～2人の議員が登壇～	p 10～11
第5回新庁舎特別委員会	p 11
平昌オリンピック応援・観戦事業派遣報告	...	p 12

森田村長 公約盛込み初予算編成

平成30年3月 村議会定例会

中札内村議会定例会は3月5日に招集され、会期を16日までの12日間とし行われました。

5日は、議案12件が審議可決されました。

再開の9日には、夜間議会を開催し、2人の議員が一般質問を行いました。

12日からの本会議では、予算に関連する議案8件及び新年度各会計予算案6件、追加補正予算1件を審議して、14日までにすべての案件の審議を終了し閉会しました。

予算審査

平成30年度は、村長改選後初の当初予算編成であるとともに、第6期中札内村まちづくり計画後期基本計画の初年度であり、これまで取組んできた子育て支援施策や定住施策を拡充しつつ、情報発信の強化や教育の充実、ふるさと納税の取組み強化など、村長公約や住民ニーズを反映した積極的な予算とされています。

一般会計と5特別会計を合わせた全会計総額が前年度対比14.8%増の56億4,280万円で、村長就任後の補正予算追加後の予算と比較し7.3%の増であり、村民プール建設事業借入金の上償還費用が主な要因となっています。3月定例会での予算審査における質疑や意見の内容についてお知らせします。

子育て支援関連

- 保育料の軽減・無料化
- ひとり親家庭医療費助成
- インフルエンザ予防接種費の助成



保健関連

- 七色献立プロジェクト（健康ポイントの導入）
- ピロリ菌検査助成
- 妊婦歯科健康診査



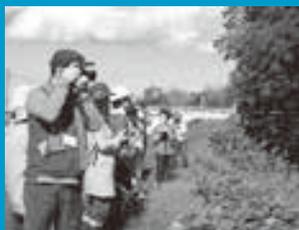
生活基盤整備関連

- 資材堆積場整備工事
- 日本で最も美しい村連合事業
- 定住促進奨励事業
- 新庁舎建設実施設計委託



まちづくり関連

- ふるさと納税の推進
- 地方債の繰上償還
- ふるさとづくり事業（景観ツアーなど）



公約を反映した 注目の新規・継続事業を ピックアップ

**予算総額
56億4,280万円**
(前年度比14.8%増)

商工観光関連

- まちなかにぎわいづくり事業補助金
- 経営改善普及事業補助金
- 札内川園地の再整備計画



教育・文化・スポーツ関連

- 通学費等助成事業
- 英語検定料助成
- 外国語指導助手の配置
- 音響・照明及び図書館業務委託
- 村民プール管理委託
- 屋内多目的運動施設整備工事



福祉関連

- 地域まるごと元気アッププログラム
- なかさつない介護カフェの設置
- 福祉灯油助成
- 恵津美ハイツ改修事業助成



農業・土地改良関連

- 牧場管理委託（発情検知器導入等）
- 堆肥処理施設修繕工事



図書館業務等委託で議論白熱

教育費

文化創造センター管理費

音響・照明及び図書館
業務委託

1375万円

外部委託する理由は？

問 2業務を一括して外部委託する理由は。また、ビーインクラブ（※Beerin倶楽部）への委託を前提としている理由は。

答 図書館司書は経験を積み、知識や能力が向上するが、期間雇用のため働き続けることができず、民間委託することでその課題が解消される。

2業務の委託は、同じ館内にあることで、ホールと図書館イベントで協力し合うことができる。

ビーインクラブを委託先とするのは、これまでハーモニーホールの音響・照明業務を担っており、地元でできることは地元をお願いしたい。

経費アップのメリットは？

問 民間委託することで経費はどの程度上がるのか。

答 図書館司書人件費を0・5人分増やすことや業務管理費を必要とすることなどで、約390万円増額となる。

※Beerin倶楽部は、文化創造センター開館時からハーモニーホールの音響・照明の運営を担ってきている地元有志による組織。

問 委託することのメリットは。

答 有償サービスなど、民間でなければできないことがあり、ブックカフェサービスや託児サービス、宅配本などの新たなサービスが行える。音響・照明業務では、スタッフが增えることで後継者の育成が期待できる。

問 図書館業務を教育委員会から切り離すことで、司書人件費が増額となる。これまでに関わってきた教育委員会職員は減員になるのか。

答 1名減にするほど職員の図書館業務量はなく、教委職員は減員にはならない。

問 委託により運営費が約390万円増額になるが、その予算を図書購入費に充てればより多くの図書を購入でき、利用者増につながる。

答 図書館司書を正規職員にするなどにより教育委員会直営で行うべきではないのか。

答 図書の購入費については、予算獲得に今後も努力していく。正規職員の図書館司書の配置が望ましいが、自律を選択し効率的に業務を進めてきた経緯から困難である。

図書館ボランティアの理解は？

問 図書館ボランティアは、事前に委託の説明がなく進んできたことに不満を持っている。理解を得られていないのではないのか。

答 ボランティアの方々の協力なくして図書館業務は成り立たない。予算決定後の説明になったことは、申し訳なく思っている。

提言 ボランティアは、中札内村・住民のためにという気持ちでこれまで協力してきている。今後も協力が継続されるようしっかり説明されたい。

音響・照明技術の後継者育成を

問 音響・照明委託は、後継者の育成を目的とされているが、業務に対する報酬が低く、長く継続してもらうためには報酬額を上げる必要があるのではないのか。

答 これまで段階的に引上げてきており、平成30年度からは1回の業務につき4万2000円とする。

提言 後継者の育成を念頭に、スタッフが長く続けていける委託報酬を継続されたい。

議員による附帯意見

黒田和弘議員

図書館業務等の委託は、行財政が厳しい中、前年度予算より約390万円増額となっているが、直営での運営と比較して委託のメリットを感じない。

前年度予算額程度に減額をして委託業務を執行されるよう、意見を附する。

男澤秋子議員

図書館は、知的財産で生涯学習の基盤を担っている。今後も村民が利用しやすい場所として、ボランティアと一体となった運営を継続するよう、意見を附する。

宮部修一議員

図書館業務等の委託に対して、多くの指摘がされており、それらの課題を解決し執行されるよう、意見を附する。



4月から業務が民間委託された図書館

主な質疑

まちづくり事業は？

総務
管理費

川越アンテナショップ閉店

市町村交流補助金 105万円

問 昨年4月に立上げた川越市でのアンテナショップを止める理由は。また、新年度からはどのような催事を実施するのか。

答 加工品を中心に出店してきたが、季節感のある野菜などの販売要望に応えることができず、中札内村の強みを活かすことができなかった。

新年度は、丸広百貨店8店舗で行われる「北海道物産展」での出品を依頼されており、本村の加工品のほか野菜などにも特産物を広げ参加する。

まちづくり
推進費

返礼品の開発と供給体制

ふるさと納税謝礼 800万円

問 納税額を増やす目標だが、返礼品の中で人気のある豚肉などのメガ盛りが品切れ状態にある。納税件数が増えた時に供給体制は確保できるのか。

答 現在の件数なら賄えるが、増えたいければ供給体制を整える必要がある。

提言 増やすよう努力され、供給体制整備を検討されたい。

問 魅力ある新たな返礼品メニューは考えられているのか。

答 反響のあった旬の野菜の充実やサービス事業の提供について知恵を出し合い開発したい。



返礼品で人気の豚肉「メガ盛り」

まちづくり
推進費

まちづくり効果の発揮

中札内花咲くコンサート事業 800万円

問 新年度は事業3年目になるが、継続するメリットはあるのか。また、村民の参加が少ないのではないのか。

答 小さな中札内村がこのコンサートを行うことで、対外的発信効果がある。当日は道の駅も混み合っており、経済効果もあると考えている。

村民参加数は把握できていないが、多くの村民に参加いただけたようPRに努める。

提言 800万円もの予算を使う事業であり、村外への波及効果や多くの村民が参加する事業となるよう、さらに努力されたい。

牧場
管理費

指定管理者取消しの申し出

牧場管理委託 1億6019万2千円

問 大規模草地育成牧場の管理は、農協から指定管理者取消しの申し出があるが、今後の対応はどうされるのか。

答 取消しの時期については、引継ぎなどにある程度の時間的余裕がもてるよう調整している。次の体制については、酪農家主体の経営が可能かなどの協議を行っているが、決定に至っていない。

提言 発情検知器導入 (240頭分)863万1千円

検知器に対する酪農家の評価は高く、大規模草地育成牧場でもその効果が発揮できるよう活用されたい。



総務
管理費

新電力導入により電気料削減

光熱水費(電気料)

問 新年度から新電力を導入する施設はどの程度削減されるのか。

答 メリットが大きいと試算した役場や文化創造センター、学校などの高圧受電を行っている10施設を新電力に切替え、520万円ほど電気料が削減できる見通し。

提言 新電力導入により電気料を大きく削減できる。他の施設についても比較検討され、切替えを進められたい。

農業振興
推進費

修繕費負担の今後

堆肥処理施設修繕工事 5854万7千円

問 修繕予算がここ数年かなり高額になっていくが、今後も修繕工事は続いていくのか。

答 また、修繕費はこれからも村が負担していくのか。平成30年度は発酵施設の屋根補強修繕を行い、その後、鉄骨塗装と攪拌機修繕を予定している。

指定管理者との協定では施設修繕は村が行う取決めとなっており、協定期間内は村が対応する。

提言 堆肥を利用することにより、農作物の生産性も向上し評判がよい。堆肥製造量をもっと増やし利益を出すことで、今後の修繕費を負担できる経営体制となるよう努力されたい。



修繕費の負担が増えてきている施設

保健
衛生費

健康づくりのポイント導入
七色献立プロジェクト 563万6千円

問 レシピカードの新年度事業での活用方法は。また、新規に行う健康ポイント事業の詳細は。

答 野菜レシピを紹介する活動の中で活用していく。また、ふるさと納税返礼品の野菜セットにレシピカードを入れる。

健康ポイント事業は、100名の参加を見込み、歩数計測や健診受診、血圧測定、健康ポイント事業への参加などによりポイントを付与し、ポイント数に応じた景品を贈呈する。

提言 多くの方が参加され、生活習慣病改善などの効果を発揮する事業とされたい。



保健
成人事業費

胃がん予防にピロリ菌検査費助成
ピロリ菌検査委託 82万円

問 検査の結果、ピロリ菌が発見された人は、除菌することで胃がん予防効果を発揮するものだが、そのことをどう周知されるのか。また、若いうちに除菌することで効果が上がるとされているが、40歳以上を対象とした理由は。

答 胃がん健診受診を推奨する中で、ピロリ菌除菌は大きな効果があることを周知する。初年度は感染率の高い40歳以上から始め、将来的に若い年齢層に広げていく。

提言 将来的な胃がん罹患のリスクを減らすため、中学生から対象とすることを検討されたい。
※個人負担は1回につき1000円で、70歳以上と非課税世帯は無料



社会福祉
一般経費

むらづくり」に寄与する福祉法人の運営を

ポロシリ福祉会運営助成補助金 2092万8千円
恵津美ハイツ改修事業補助金 2507万7千円

問 ポロシリ福祉会の運営費などに、税金から多額の補助がされており、小さな村では共存共栄を基本に地域に親しまれる法人であるべきだが、村内業者から購入するなどの配慮が不足しており、村からの指導をお願いしたい。

答 ポロシリ福祉会は本村における障がい者と高齢者福祉の担い手であり、村と住民、法人は共存共栄の間柄になる。社会福祉法人に対する指導監督権は北海道にあるが、補助金を支出している村として必要なことは助言していく。

提言 補助金は受けるが、運営は法人の都合ということでは村民は納得できない。ポロシリ福祉会があることで生活している人もおり、共存共栄の精神により適正な運営指導にあたるべきである。

社会福祉
一般経費

就労センター賃金値上げ
社会福祉協議会補助金 1803万7千円

問 就労センター賃金は、平成30年度に見直されるのか。

答 各職種で改定を行うが、草刈作業賃金は460円アップの6970円に、機械刈払い作業賃金は1090円アップの7750円に、チェンソー作業賃金は930円アップの8520円に改定する。



一般
土木経費

庭木・落ち葉を村で受入れ
資材堆積場整備工事 318万円

問 家庭の庭木や枝、落ち葉等を無料で受入れるが、いづころから堆積場は利用できるのか。また、そこまでの搬入方法は。

答 落ち葉や庭木の処理が多くなる頃までには開放できるよう整備したい。
受入れは週一回とし、個人で搬入していただく。

問 堆積物の再利用はどのようにされるのか。

答 落ち葉などは堆肥に、枝などはチップにして、村民に還元する。



主な質疑

まちづくり事業は？

工
観
光
費

札内川園地の整備計画

札内川園地防護フェンス設置工事 660万円

問 札内川園地は、フェンス設置工事の他にどのような整備を今後計画されているのか。

答 今年度策定した「中札内村観光振興基本方針」を基に、札内川園地のイメージアップを図るため、インターネットでの映像配信や滝見ビューポイントの設置など検討している。また、園地内に札内川ダム管理用道路が新設される計画があり、位置的に関連するテニスコートやレストハウス等の周辺整備も検討していく。

提言 観光の拠点として、周辺の自然を守るとともに、利用しやすく魅力ある場所となるよう整備されたい。

工
観
光
費

制度を拡充

まちなかにぎわいづくり事業補助金 500万円

問 空き店舗改修や家賃助成に加え、新規店舗や既存店舗改修の支援を行うが、利用の見込みは。

答 これまで3件の事業所・個人から相談があるが、さらに活用されるよう、商工会と連携しPRしていく。

提言 村外からも事業者を呼び込むことが大切であり、商工会に頼るだけでなく、村としても積極的なPRに努められたい。



再整備したレストラン「チュプ」

教
育
費

通学費助成は一部世帯限定で

通学費等助成事業補助金 216万円

問 選挙公約の通学費等助成の対象を、準要保護世帯に限定したが、親の期待に届いていないのではないのか。また、定住・移住者には通学費の負担がネックであり、充実した助成制度が必要ではないのか。

答 全員を対象にできればと思うが、まずは本当に困っている方々からフォローし、将来的な制度充実のため、ふるさと納税に力を入れるなどして財源を確保する。

移住・定住施策では、学力が高く、教育をしっかり支えているという本村の魅力を発信したい。



国
際
交
流
費

新たな国際交流先の見通しは

青少年国際交流派遣研修事業補助金 365万8千円

問 モルヤハイスクールへの派遣交流事業が2年間で終了することになったが、新たな交流先の見通しはどのような状況なのか。

答 モルヤで協力をしてくれた方が対応できず、継続できなくなった。今年度は旅行代理店の短期留学事業

で派遣するが、新たな派遣交流先は、北海道と姉妹提携を結んだハワイ州のほか、カナダ、アジア英語圏などを候補に、早期に決定したい。



教
育
費

語学指導助手配置

語学指導講師費（報酬） 432万6千円

問 語学指導助手1名を配置するが、採用予定者は決まっているのか。また、社会教育事業も担われるのか。

答 アメリカ・エルマ在住の方に快諾をいただいております。国際交流事業やキッズ・イングリッシュ事業などでも中心的役割を担ってもらおう。



教
育
振
興
費

英語検定料の助成

英語検定補助金 34万5千円

問 新たに英語検定料を助成するが、その目的は。また、他の検定にも助成しなければ不公平ではないのか。

答 村長公約にあるこの助成は、英語でコミュニケーションができる人を育てるため、小中学校の英語教育を重点的に進める施策として、英語検定を奨励する。他の検定については検討していない。

村から提案された予算について審査を行い、一部、意見を附して可決しました。

予算に対する質疑や提言が、平成30年度の予算執行にあたり効果が発揮されるよう、議会として引き続きチェック機能を果たしてまいります。

今年度の住民サービスと

体育施設
管理費

団体調整と整備のあり方

多目的運動施設整備工事 1億5956万円

問 ゲートボール愛好者からの要望に対する配慮をしているのか。また、多目的に利用する各種団体との協議は行われたのか。

答 ゲートボール協会からの意見を反映してきており、発注に向け今後も意向把握に努めていく。

多目的利用は、少年団や中学校の野球、サッカー、テニスなどの利用を想定しているが、関係団体等との調整はまだ行っていない。

問 将来的には多目的利用が主体になると想定するが、天井が低く、必要な高さ確保することは検討できないのか。

答 ゲートボール人口は減少傾向にあり、多目的利用施設として整備を進めるが、天井高を上げるには多額な費用が掛かり、実施は困難である。



国保会計

国民健康保険は北海道が運営

問 平成30年4月から変わる国民健康保険制度の概要は。

答 平成30年度から運営主体が中札内村から北海道に移管となる。

本村は、これまで保険料は低かったが、全道準化になることから、徴収する保険料は大幅に上がることになる。その対策として、国により激変緩和策が6年間実施され、被保険者の負担が軽減される。

具体的な保険料は、国保運営協議会での協議を経て決定される。

問 国民健康保険料の納付時期は。また、村民への周知方法は。

答 納付時期は例年と同じ6月に予定している。周知方法についてはこれまでも広報を通じて行ってきたが、保険料が上がることになるので、広報での周知や必要に応じて細かな説明をしたい。



プール管理を民間委託するメリットは

村民プール管理委託 761万5千円

問 プール管理委託業者はどこを想定し、水泳教室の開催などはどうしていくのか。

答 また、これまで働いていた臨時職員の雇用はどうなるのか。プール管理実績のある2社から話を聞いているが、水泳教室も一括で行うことが可能で、効率的と考えている。昨年まで働いていた方は、希望すれば継続して雇用される。

入 歳
営農用水の契約変更周知

水道使用料 4298万2千円

問 農家世帯では、合併浄化槽などの設置で水道使用量が増えており、少量利用の営農Ⅰでの契約より基本使用水量の多い営農Ⅱで契約した方が使用料は安く済むケースがある。使用者にそのことを周知する考えはないのか。

答 使用量が多い場合は、営農Ⅰから営農Ⅱに切替えたほうが安く済む可能性はある。見直し機会の周知方法を検討したい。

入 歳
基金取崩しと財源見込みは

基金繰入れ 8億1757万円

問 基金取崩し額は、プール建設借入金の上償還3億9100万円を含んでいるが、多額である。基金の枯渇を懸念するが、今後の財源見込みはどうか。

答 庁舎建設など大型工事を控え、公債費の上昇を押さえるため繰上償還する。事業の実施に当たっては、例えば道路事業財源を生み出すために委託調査を行うことや、交付税で還元のある地方債を借入れるなど、今後も適正な財政運営を行う。

問 プール建設借入金の上償還により、利息削減はどの程度になるのか。

答 繰上償還による利息削減額は、1100万円ほどと試算している。



借入金を繰上償還する村民プール

議員報酬条例改正案に修正案可決

村議会議員・委員等の報酬、特別職等給与引上げ条例を提案するも、村長自らは任期中凍結。議員も修正案により、任期中は凍結へ。

条例改正

条例が改正された主なものを掲載します。

- ◆中札内村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◆委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◆中札内村長等の給与等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会から、特別職給与及び議員報酬並びに委員会委員等報酬額について、社会経済環境や当村の財政状況などを勘案した結果、その職務と責任に対応する報酬等を定めるべきとの答申を受け、一部を除く報酬等の額を引上げるため、関係条例の一部を改正するものです。また、村長の給料月額引上げは、村長の公約の一つとして任期中に限り凍結します。

問 村長の給与月額、選挙公約も他の委員会でも審議された内容が村政執行の基本となっており、特別職報酬等審議会の答申を尊重すべきでは。

答 答申を重く受け止め、尊重すべきと思っている。期末手当役職加算は凍結するという公約を掲げて当選させていただいたこともあり、私の任期中に限り改定せず、現状の報酬でしっかり働きたい。

問 報酬等の改定を諮問する際は、議会に前もって話しがあり、決められてきた経緯がある。今回は、どのように考えられていたのか。

答 議場での審議案件なので、全員協議会の中で説明し、意見交換をしたと思っっている。不十分という指摘であれば反省する。

問 副村長と教育長の給与を凍結しない理由は。また、特別職と議会議員の給料改定は、これまで一体で行われてきているという経緯が歪められるのではないのか。

答 副村長と教育長の給与は、十勝管内でも低く、一方でその職責は非常に重くなっており、改定の答申を尊重する。また、選挙で当選した村長とは分けて考えている。

議会と一体ということは承知しているが、公約との整合性で凍結するもので、理解していただきたい。

修正動議



提出者 中井康雄議員

現職議員の報酬引上げ凍結 「中札内村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正に対する修正案」

原案に附則を追加し、現職議員の任期である平成31年4月まで支給する議員報酬月額、改定後の規定を適用せず、現報酬額とする。

提案理由

議会との協議が不十分で議会では検討・精査を行っておらず、これまで議員報酬と村長等給与の改定は、お互いの合意により改定されてきた経緯が尊重されていない。また、議員報酬は引上げるが、村長自らは引上げを任期中に限り凍結する提案である。これらのことから改定提案は理解しかねるが、本村の議員報酬月額額は管内でも一番低い現状にあり、来年には議員選挙を控え、やりがいや魅力がなくては議員のなり手が育っていかないことを危惧するものである。議員報酬の引上げは、わずかながらでもその改善に寄与すると捉えるが、我々現職議員の任期中は村長と同様に引上げを凍結する修正案を提出する。

家賃助成・移住奨励金を拡充 ◆中札内村定住促進条例の一部改正

移住・定住推進策の充実を図るため、民間賃貸住宅家賃助成の対象に一戸建て住宅を追加すること、及び移住促進奨励金を若者・子育て世帯限定であったものに、制限のない移住者も対象とするため、本条例の一部を改正するものです。

問 中札内村に移住してよかったと思ってもらえるように、どのような施策を展開していくのか。

答 この施策をPRするとともに、住んでよかったと思えるまちづくりを進めるため、公約や具体策が盛り込まれているまちづくり基本計画を完遂する。

◆中札内村出産祝金支給条例の一部改正

第3子以上の出産祝金受給資格者に、複数の解釈が成立つことから、対象者を明確にすることと、受給資格の対象要件を一部拡大するため、本条例の一部を改正するものです。

問 再婚により双方の子供2子の養育をしている家庭で、3子目が生まれた場合も該当になるのか。

答 3子目として該当になる。



◆介護保険料値上げ

◆中札内村介護保険条例の一部改正

平成30年度から平成32年度までの介護保険料を、第5段階で月額3100円から4000円に上げるため、本条例の一部を改正するものです。

問 9000円のアップになったが、管内では一番低い保険料にある要因は。

答 村には、介護保険事業基金があり、保険料を上げる前に基金を取崩し補填していることから、大幅な引上げになっていない。

提言 基金がなくなつたときには負担額が上ががる。多くの高齢者が介護を必要とせず元気でいられる施策を進めてほしい。

ひとり親世帯医療費対象年齢拡大

◆重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

村長公約である「ひとり親世帯が暮らしやすい村づくりの推進」の実現に向け、ひとり親家庭等で扶養されている18歳から20歳までの者を医療費助成の対象とするため、本条例の一部を改正するものです。

◆中札内交流の杜設置条例の一部改正

3階研修室の利用拡大のため、スポーツや文化、芸術に限らず、コミュニティ活動や各種団体、サークルなどにも利用されるよう、使用期間と利用料を1カ月単位とするため、本条例の一部を改正するものです。

問 まちづくりトークで、芸術活動がされている方から長期利用要望があったが、その方は利用される予定なのか。また、意見を反映しての改正か。

答 その方に現地を見ていただき、利用可能との判断から改正する。

提言 広くPRすることもある

もちろん、村民以外にも利用されるよう具体的活用案を検討し、有意義な交流の杜となるよう努力されたい。



利用率が低い3階研修室

補正予算

補正予算の審議の中で質疑のあった主なものを紹介します。

除排雪実績と雪捨て場

(除雪委託) 3500万円

問 これまでの除排雪の実績と今後の見込みは。

答 除雪は全線17回と郊外4回行っており、排雪は2回行っている。今後4回の除雪を見込むが、3月1日の大雪の処理があり、さらに予算を追加する必要がある。

(総予算 1億1000万円に) 追加補正 2000万円

問 札内川河川敷の雪捨て場が満杯になり、43号村有地に雪を運んでいる。河川敷地なら2回運べるものも1回しか運べない状況となり、運転手も不足している現況では非効率であり、河川敷地の雪捨場はロータリーで高く積上げるなどの工夫も必要ではないのか。

答 札内川河川敷の雪捨て場は、開発建設部からの借用地で、堤防以上の高さには積めないというルールがある。雪の量が許容量を超えた場合は43号村有地を使用せざるを得ない。

浸透枘整備事業

31年度から再開見込み

(土地改良事業補助金) ▲527万円

問 浸透枘設置事業で当初の申込みから16件見送られたが、新年度予算の措置もされておらず、事業終了になるのか。

答 2カ年の事業は終了し、今後は元気な畑づくり事業の中で実施を検討している。平成31年度からになるが、見送られた方々には説明をしていきたい。

旧福祉バスインターネット公売

(車両売却) 72万円

問 旧福祉バスがインターネットで売られたが、下取りはできなかつたのか。

答 下取り価格とインターネット公売額を比較想定したが、インターネット公売のほうが高く売れると判断した。高いか安いかの判断は難しいが、ある程度の収益はあったものと考えている。



公売した旧福祉バス

一般質問では、議員が行政事務の執行状況や将来の方針などの報告・説明を求めて質問しました。

一般質問



中西 千尋 議員

新たなアートの取組みは

上札内地区の除雪基準は

新アートの具体案は

上松教育長

美術と音楽の融合で

中西議員

中西議員
日本で最も美しい村連合に加盟して、今後の第6期まちづくり計画におけるアート分野での新しい取組みなどの方向性について伺います。

上松教育長

中札内村が日本で最も美しい村連合に加盟することができたのは、「防風林に守られた農村原風景」と「北の大地を彩るアートと文化」という二つの地域資源があることによるものです。

「北の大地を彩るアートと文化」は、花のまちづくりと20年間続いた北の大地ビエンナーレ展、中札内美術村など企業の戦略とまちづくりの方向性が融合していることによるもので、これらの地域資源に磨きをかけていかなければなりません。

30年度は、武蔵野美術大学



美術と音楽の融合による新たなアート事業

との連携による小・中学校でのサポートティーチャーの実施、また、昭和音楽大学三谷教授による音楽セミナーやコンサートなどの音楽を取り入れたアートの村づくりを推進し、「小さなまちの花と絵のある音楽会」を開催するなど、美術と音楽を融合させた新たなアートの村の魅力発信の初年としながら、引き続き調査検討を進めます。

上札内方面への配慮は

森田村長

出勤時間を早める対応

中西議員

中西議員
積雪時の村道並びに街中生活道路の除雪車出動の村基準について伺います。特に降雪量が多い上札内方面の除雪対応の配慮はどのようにされているのか。また、上札内地域の降雪情報は、情報提供者を置き出動決定する必要があると考えますが、見解について伺います。

森田村長

除雪車出動の村基準は、概ね10センチメートル以上の積雪時に出勤し、作業は未明の2時から7時を基準とし、通勤・通学時間までに終了することとしています。雪が降り続く場合は出勤時間を調整する場合があります。

降雪量の確認や出動決定は、パトロールの実施や測候所への確認、気象協会データの活用により行い、これらの情報を踏まえて企業体との協議に



3月1日大雪時、道路除雪の様子

より出動の判断をしています。上札内市街地については、上札内小学校、消防会館の除雪後に生活道路等を除雪しますが、除雪を行いながら、上札内に向かうこともあり、中札内市街地に比べ2時間程度遅れが生じていることから、今後の上札内地区の除雪については、出動を早めるなどの対応を行います。

また、上札内地域の積雪量把握の方法については今後検討します。

一般質問

エキノコックス対策駆虫薬散布の考えは



宮部 修一 議員

駆虫薬散布の取組みを

宮部議員

森田村長

継続的体制づくりを検討

宮部議員

道内での発症が多いエキノコックスは、駆除対策での絶滅には限界がある中で、最近、道内のいくつかの自治体では駆虫薬を散布する事で感染源となる虫卵が確認されなくなつたとの報告があり、感染リスクを軽減する事に成功している実例もあります。

農業や観光への風評被害防止のためにも、中札内村として、駆虫薬の散布に取組む必要があると考えますが、今後近隣自治体とも協力し、実施していく考えはないのか伺います。

森田村長

キツネのエキノコックス感染率は、40%という研究報告もあり、道内では毎年20人ほどの患者が発生していると考えられています。

駆虫薬散布は、エキノコッ



市街地でもキツネを見かける機会が増えている

クス症対策に効果が期待できませんが、継続的な検体の検査などを市町村単独で実施しても、その効果を判断することは難しく、北海道保健福祉部で作成している「キツネの駆虫に関するガイドライン」を参考に、感染状況や効果を事前に研究し、継続的に実施できる体制づくりも含めた検討を進める考えです。

また、住民への感染防止対策の周知やエキノコックス症検査受診勧奨にも引き続き取り組めます。

中札内村新庁舎建設調査特別委員会

新庁舎設計業者決定

特別委員会は、2月26日に行われたプロポーザル審査の公開ヒアリングを傍聴しました。村が提示した「住民に親しまれる庁舎」、「省エネ、環境への配慮」、「防災拠点機能」などの五つの課題に対する提案や業務に取組む体制、創造的なプランが6業者から示されました。どの業者の提案も独創性があり、課題を的確に捉えたもので、設計の実施に向け期待が膨らむものでしたが、本村の降雪量が多いことへの対応はどうかとの意見もあり、今後の設計協議での質疑、意見具申に参考となるよい機会になりました。

第5回委員会では、村から選考結果についての報告があり、株式会社青土が、業務への取組み体制、設計上の配慮、課題に対する提案の確性、創造性・実現性の観点から評価されたとのことでした。

「かしこく つつましく うつくしく」をテーマとした平屋建て案ですが、コンセプトや概要が示された段階で、具体的平面プラン等はこれからの詰めになります。

委員からは、駐車場配置場所や出入口の的確性、広大に配置された庭園管理にかかる負担や防風林イメージ植樹による道路への日陰の影響、議会棟の詳細不明などの意見が出され、今後の協議・意見交換により完成度を高めなければなりません。

また、住民参加型ワークショップにより設計を進めることの提案もあり、住民、行政、議会の協働により、機能的で村民に親しまれる新庁舎を作り上げていくため、今後の特別委員会活動に力を注ぎます。



新庁舎と外構のイメージ図

平昌オリンピック

応援・観戦事業派遣報告

(2月18日～22日)

産業
文教

常任委員会

委員長 北嶋信昭

村内

出身者や十勝管内からも出場する選手を応援し、また、世界最高峰レベルの競技を観戦することで子ども達に夢をもってもらうことを目的として実施された本ツアーの団長として参加しました。

中学生はスケート部の生徒が6名、一般参加が1名、事務局2名との10名での応援・観戦ツアーでした。

平昌

オリンピックは、平昌(ピョンチャン)郡のほか江陵(カンヌン)市、旌善(ジョンソン)郡にわたる地域で開催されましたが、人口は4万人程度の地域でホテルなどの宿泊施設が少なく、派遣団はソウルに滞在しオリンピック会場に移動するという行程でした。

移動は、高速鉄道やバスで行い、ホテルを出発してからの片道の移動時間は3時間を要し、毎日中札内から札幌に往復しているような気持ちで

した。また、競技が夜間であり、観戦を終えてホテルに戻る時間は午前1時・2時となる大変ハードな日程でしたが、使命感と気力で何とか乗り切った次第です。

初日

は、先に押切美沙紀選手の応援のためソウルに滞在していた森田村長と合流し、夕食を共にして親切選手の活躍の話題などで懇談しました。

2日

目の19日は、女子パシュート予選と男子の競技を目にし、その盛り上がりを感じることができました。

女子パシュート予選では、日本チームにスタートでミスがあり一時緊張感に包まれましたが、予選を2位で通過し決勝での活躍に期待をつなぐことができました。

男子500mでは、日本の代表3選手に大きな声援を送り、中学生たちはその迫力と技術の高さに自分との違いを感じ取り、今後の競技に活かそうと考えていたようです。

3日

目の20日は、ボブスレー競技の観戦を予定していましたが、過密なスケジュールであったこともあ

り、子ども達の体調に配慮し、平昌オリンピックスタジアムと周辺施設の視察・散策に変更しての行動としました。

4日

目の21日は、いよいよ男女パシュート決勝の日です。

女子パシュート決勝は、日本チームを応援する皆が一体となり総立ちで応援し盛り上がる中、見事金メダルを獲得されました。その時の興奮と喜びは長い人生の中でもなかなか味わうことのできないものでした。現場に居合わせることでできた中学生には一生忘れることのできない瞬間であり、スピードスケートを続けていく大きなエネルギーとなることでしょう。



日本選手に力いっぱい声援をおくる派遣団

滞在

中、昼間の時間帯は自由行動ができる余裕があり、中学生のリクエス

トを主にソウル市内を視察・散策しました。世界遺産の宗廟(ジョンミョ)見学、明洞(ミョンドン)でのショッピングなど、韓国の歴史や文化にも触れることができました。

中学

生6名から帰国後にツアー参加の報告がされましたが、「トツプアスリートへの滑りを見ることで、これからの練習に活かせられる。」「金メダルの瞬間は全員が喜びを共有し感動を分かち合うことができた。」「韓国と日本との文化の違いや他国のマナー、韓国の歴史を学ぶことができた。」「将来の自分の姿を描き、何をすべきか楽しみになった。」などの感想が述べられており、中学生たちにとつてかけがえのない貴重な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

私も、派遣団の皆で大きな感動を得る瞬間に立ち会う機会に恵まれ、また、怪我や病気に、大きなトラブルもなく無事に応援・派遣ツアーを終え責任を果たすことができました。今回のツアーを企画された村・教育委員会、そして私の派遣を決定してくださった村議会に感謝を申し上げますとともに、派遣で得た成果を教育的施策や村づくりのため議



金メダルを獲得し観客にこたえる女子パシュートチーム

編集後記

陽だまりで福寿草が春を告げ、続いてクロッカス、スイセン、チューリップ、桜...と一斉に花が咲くのが北海道の春の特徴です。

花の村中札内をピアーレルするために長年にわたり実施してきたオーブンガーデンは、参加者の減少で実施ができなくなり、平成28年度から道の駅でふれあいガーデンを行っています。

住民の方々が作られた寄せ植え鉢やハンギングバスケット等を飾り、観光客などの来場者にお花で「おもてなしの心」を伝えたいと思っています。

(男澤)

